

# 高齢者のインフルエンザ予防接種費用を助成します

抵抗力が付くまでに2週間ほどかかるため、流行前（目安として12月中旬まで）に接種しましょう。

## ◆対象者

- 令和4年12月31日時点で65歳以上の方
- ※10月1日現在で65歳以上の方には9月末に予診票を送付しています。12月31日までに65歳になる方には誕生日を過ぎてから予診票を送付します。
- 60歳～64歳の方で心臓、じん臓、または呼吸器の機能およびヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害により、身体障害者手帳1級を所持している方
- ※接種前にお問い合わせください。障害者手帳の写しが必要となります。

## ◆助成金額

3,000円（助成金額を超えた額は自己負担）

## ◆助成対象接種期間

～令和5年1月15日㊤

## ◆新型コロナワクチンとの接種間隔について

インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは、同時接種が可能です。

※インフルエンザワクチン以外のワクチンと新型コロナワクチンは、同時接種ができません。片方のワクチンを接種してから2週間空ける必要があります。

例) 10月1日に新型コロナワクチンを接種した場合、インフルエンザワクチン以外のワクチンを接種できるのは10月15日（2週間後の同じ曜日の日）からとなります。

## 感染症対策を徹底しよう！

冬はさまざまな感染症が流行しやすい季節です。特に冬に流行するインフルエンザは、症状だけでは新型コロナウイルス感染症との判別が難しく、同時流行が懸念されます。

新型コロナウイルス感染症対策はインフルエンザ等の他の感染症にも有効です。一人一人が感染症対策を徹底しましょう。

手洗いうがいを小まめに  
しましょう。



日頃から十分な休養を取り  
免疫力を高めましょう。



予防接種も予防方法の一つ  
です。

